

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

研修名	アメリカ・グローバルキャリアプログラム
-----	---------------------

留学費用項目 (申込時の料金は除く)	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	45,000 円	主に昼食代
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	6,000 円	
現地通学費	6,000 円	(研修先まで 40 分)
教養娯楽費	50,000 円	タクシー代も込み
被服費	20,000 円	
雑費	円	
その他	140,000 円	例: 飛行機
合計	267,000 円	

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 現地で引き出し
その他用意したもの: ☒ クレジットカード ☒ デビットカード・キャッシュパスポート

2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
Wise と Revolut とソニー銀行のカードを使い分けました。

3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
esim を使用しました。日本で登録してから行ったので、現地ではデータローミングのオンだけだったのでとても楽でした。

4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
準備してよかったものは胃薬です。ハンガーをもう少し持っていけばよかったです。

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
(例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
☒ なし ☐ あり (問題の内容や相談した人等:)
特記事項:

2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？
インターン先のスタッフさんに聞いたり、9 時ぐらいに帰宅の時はタクシーを使ったりした。

3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
うまくいきました。家の中でも WiFi の接続が悪い時があったのでギガ無制限にしておいてよかったです。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類 ☐ 寮・アパート ☒ ホームステイ ☒ ホテル

2) 部屋の形態 ☒ 個室 ☒ 相部屋(同居人数 3 人)

3) 共有部分
☒ バス ☒ トイレ ☒ キッチン(☒ 自炊可 ☐ 自炊不可)

4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等) 最初の四日間が研修で、三人一部屋で過ごしました。ホームステイの二週間は自分一人の部屋にお風呂もトイレも自分専用でした。同部屋の子もとてもいい子で過ごしやすかったです。
--

プログラムについて プログラム参加前について記載してください
1)どのような目的でこのプログラムに申し込みましたか。 将来海外で働いてみたいという気持ちがあり、自分の就職活動が始まる前に本当に何がしたいのかを見極めたかったからです。
2)参加するにあたっての目標はありますか。 日本語での業務がメインだとは伺いましたが、日常的に英語も積極的に使用し、英語力の向上にも努めながら、自分が将来どのような場所で働きたいのか再確認することです。
3)申込時では、どのような業界で働きたいと考えましたか。 航空業界です。

プログラム選択の参考となる点を記載してください
1)どのような業界で実習を行いましたか。 大学
2) 主要な実習内容を記載してください。 成績管理、電話とメール対応、アポイント取り、リサーチ、SNS 運用
3)業界、仕事内容について、イメージとの違いはありましたか。日本との違いなどを感じた場合は、どのように異なっていると感じましたか。 あまり違いはなかった。事務仕事をさせていただきました。違いは、日本だと事務の人との間の処理など丁寧などが求められると思いますが、事務方の人もフレンドリーに生徒と接していてまるで友達のようなだなと思いました。
4) プログラムや実習内容について、良かった点、悪い点(大変だった点)を記載してください。 英語で実際に生徒さんやアポイントメント先とお話しする機会が多かったのですが、自分の英語が対面ではなくとも伝わるのがわかり自信になりました。大変だったことは、ビジネス英語です。今までの自分の話し方がとてもフランクで失礼に聞こえてしまうものがあり、直されることもありましたが、最終的には訂正も少なくなりビジネス英語を学ぶこともできました。
5) プログラム参加の成果等を記載してください。 英語で仕事をするとはどういうのを学べたことはもちろんなのですが、実際の業務とはこういうものなのかということを知れました。働く経験は接客のアルバイトのみだったので事務の仕事を実際に体験でき、効率良くするためにはどうしたらいいのかなど柔軟性や対応力も得ることができました。

英語力／コミュニケーションについて
1)申込時の英語スコアを記載してください。 英検準一級 TOEIC 840 IELTS 6.5
2)渡航前に語学力向上に向け、どのような取り組みを行いましたか。

海外の YouTuber の動画を見て耳を慣らして見ました。

3)実習/ホームステイでのコミュニケーションや英語力の向上について、工夫したこと、成果などを自由に記載してください。

研修先では、スタッフの方が英語を使う仕事を任せてくれたので難しいと思っても全て挑戦しました。お家では、ホストファミリーと積極的にお話したかったので、晩御飯の後リビングに残ったりしてお話しました。土日どちらかは家にいる日を作りました。ホストブラザーがいたので積極的に今日会ったことを話して、そこから話題を膨らませました。

異文化体験について

1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。

道で犬の散歩をしている人と通勤途中に出会って十分ぐらいお話ししました。日本では、可愛い〜と話しかけたとしても、ありがとうございます。で終わるところを、フレンドリーに話を始めてくれ、たくさん話を振ってくれたりしてアメリカに来たんだなと感じました。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

海外でインターンをする機会というものはあまり得られるものではないと思います。英語を使って仕事をするのは少しハードルが高いと思うと思いますが、何事も挑戦だと思います。挑戦してみたら意外とできることに気づくかもしれないし、失敗しても次に繋げよう、もっとうまくやろうと向上心にもつながると思います。プログラムに参加する他の学生との交流もとても良い思い出になります。様々な夢を持っている人に出会え、生き方も学び将来についてポジティブに考えられるいい機会になりました。もし、海外で仕事してみたいなと少しでも思っている方は、ぜひこのプログラムに参加してみてください！

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

研修名	グローバルキャリアプログラム
-----	----------------

留学費用項目 (申込時の料金は除く)	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	50000 円	
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	15000 円	
現地通学費	5000 円	(研修先まで 40 分)
教養娯楽費	0 円	
被服費	0 円	
雑費	0 円	
その他	0 円	例:
合計	70000 円	

渡航準備について
1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 空港で両替
その他用意したもの: ☒ クレジットカード ☒ デビットカード・キャッシュパスポート
2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
クレジットカード
3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
ESIM を使用
4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
風邪薬持っていて助かった

現地情報
1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
☒ なし ☐ あり (問題の内容や相談した人等:)
特記事項:
2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？
プログラムのスタッフが危険地域情報をオリエンテーションで教えてくれた
3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
問題なく使えた

滞在形態関連	
1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態
☐ 寮・アパート ☐ ホームステイ ☒ ホテル	☐ 個室 ☒ 相部屋(同居人数 3 人)
3) 共有部分	
☒ バス ☒ トイレ ☒ キッチン(☒ 自炊可 ☐ 自炊不可)	

4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)
みんなで生活できて楽しかった

プログラムについて プログラム参加前について記載してください
1)どのような目的でこのプログラムに申し込みましたか。
海外で働くキャリアも考えたかった
2)参加するにあたっての目標はありますか。
積極的に参加者と交流する
3)申込時では、どのような業界で働きたいと考えましたか。
特に考えていない

プログラム選択の参考となる点を記載してください
1)どのような業界で実習を行いましたか。
教育業界
2) 主要な実習内容を記載してください。
プログラム運営会社での勤務 スーパーに対しての新規施策提案
3)業界、仕事内容について、イメージとの違いはありましたか。日本との違いなどを感じた場合は、どのように異なっていると感じましたか。
特になし
4) プログラムや実習内容について、良かった点、悪い点(大変だった点)を記載してください。
スーパーで現地調査をして社員に提案するという経験は面白かった
5) プログラム参加の成果等を記載してください。
スーパーの利用者に対してアンケート調査をして 400 件のデータをスーパーに提供できた

英語力／コミュニケーションについて
1)申込時の英語スコアを記載してください。
トイック 670 点
2)渡航前に語学力向上に向け、どのような取り組みを行いましたか。

特に何も行わなかった
3)実習/ホームステイでのコミュニケーションや英語力の向上について、工夫したこと、成果などを自由に記載してください。
ホテルステイで英語をほぼほぼ利用しなかった

異文化体験について
1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。
色々な人種の人が共生していて興味深かった

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

留学生活では、最初は言語や文化の違いに戸惑うこともありましたが、積極的に現地の人や他の留学生と交流することで少しずつ自信ができました。授業や研究では、自分の意見をはっきり伝える姿勢が求められるため、日頃から考えをまとめる習慣が役立ちました。また、生活面では自炊や時間管理の重要性を強く実感しました。後輩へのアドバイスとしては、「失敗を恐れず挑戦すること」が一番大切だと思います。慣れない環境にいるからこそ、失敗から学べることも多く、結果的に大きな成長につながります。
--

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

研修名	アメリカ キャリア実習
-----	-------------

留学費用項目 (申込時の料金は除く)	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	50000 円	
図書費・学用品費	円	
携帯・インターネット費	5000 円	
現地通学費	片道 250 円	(研修先まで 30 分) バス
教養娯楽費	150000 円	
被服費	円	
雑費	10000 円	
その他	円	例:
合計	300000 円	

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 約 3 万円ドルで持って行った。でもほとんど使う機会がない
その他用意したもの: ☒ クレジットカード ☐ デビットカード・キャッシュパスポート

2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
ほとんどがクレジット払いだった。何人が用意したクレジットカードが使えないという人がいたため、一枚だけでなく、何枚か用意しておくべきだと思った。

3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
eSIM を用意した。eSIM だと付け替える必要もないし、WiFi を持ち運ぶ必要もないため楽だった。

4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
日本よりも日差しがかなり強いので、ぼうしとサングラスが必須だった。また、寒い時が何回もあったため長袖も持っていくと安心。

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
(例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
☒ なし ☐ あり (問題の内容や相談した人等:)
特記事項:

2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
ロサンゼルスは危険区域がいくつかあるため、あらかじめネットで調べていった。街中はホームレスの人がいたり、麻薬の匂いがしたり、奇声を発している人がいるなど怖い思いをするが、目を合わせないように心がけた。

3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
インターネットの接続などは困ることがなかった。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類

☐ 寮・アパート ☒ ホームステイ ☐ ホテル

2) 部屋の形態

☒ 個室 ☐ 相部屋(同居人数 人)

3) 共有部分

☐ バス ☐ トイレ ☒ キッチン(☐ 自炊可 ☐ 自炊不可)

4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)
ホームステイする場合は、お客さんとしてではなく、家族の一員としてお血洗いを手伝うなどしながらコミュニケーションを積極的に図るべきだ。また、こちらが思っているよりも心配してくれているため、帰りが少しでも遅くなる時は連絡したほうが良い。

プログラムについて プログラム参加前について記載してください	
1)どのような目的でこのプログラムに申し込みましたか。	自分のやりたいことが見つかっていないため、何か見つけたい。 海外で働くことに興味はあるけど、実際どうなのか体験したい。
2)参加するにあたっての目標はありますか。	後から後悔が残らないように全力で様々なことに取り組む。 海外でも働ける適応力を身につける
3)申込時では、どのような業界で働きたいと考えましたか。	食品メーカー、専門商社

プログラム選択の参考となる点を記載してください	
1)どのような業界で実習を行いましたか。	Japan Taste Marketing で日本食や日本文化を海外に広めることを目的とした企業
2) 主要な実習内容を記載してください。	名刺整理、お酒イベントの運営サポート、マーケティングに付随するリサーチ、情報整理、イベントのホームページ作成などに携わった。またイベントで出店する射的ゲームにおいては価格設定や、景品サーチなど様々な業務を体験することができた。
3)業界、仕事内容について、イメージとの違いはありましたか。日本との違いなどを感じた場合は、どのように異なっていると感じましたか。	個人個人ではなく思ったよりもチームを大切にしていると感じた。また、報告や連絡、相談などが活発に行われていた。ただのインターン生としてではなく、一緒に働く社会人として迎え入れてもらった。
4) プログラムや実習内容について、良かった点、悪い点(大変だった点)を記載してください。	インターンだったけどかなり幅広く仕事を任せてもらった。 今までは何かアイデアを出して終わりというのが多かったけど、実際にコストはどのくらいなのかを隅から隅まで調べるのが大変だった。
5) プログラム参加の成果等を記載してください。	海外で働くというイメージが具体的に持てた。 また、ただのインターン生としてではなく、さまざまな業務を体験することができたため、それなりの責任感を感じた。

英語力／コミュニケーションについて	
1)申込時の英語スコアを記載してください。	TOEIC795 点
2)渡航前に語学力向上に向け、どのような取り組みを行いましたか。	

シャドーイングをしたり、日常会話を練習した。

3)実習/ホームステイでのコミュニケーションや英語力の向上について、工夫したこと、成果などを自由に記載してください。

できるだけ、翻訳アプリを使わないようにし、自分の言葉で伝える努力をした。また、事前にホストファミリーに英語を勉強したいということを伝えていたため、協力してくれて間違いを直してくれたり、新しい言葉を教えてくれたりした。

異文化体験について

1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。

日本とはかなり異なる点があった。
バスが時間通りにこなかったり、大きな音で音楽を流している人がいたりした。
また、街中にはホームレスの人が多くいたり、大麻の匂いがいるところからした。
もちろん日本と比べてかなり治安が悪く、怖い思いをしたけど、スーパーで思い水を持っていると声をかけてくれて助けてくれる人や、バスでも降りる場所を教えてくれる人など優しい人が沢山いた。日本だと、声をかけることに躊躇してしまう人が多いけど、アメリカでは気兼ねなく助けてくれる人が多くいた。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

このプログラムは個人渡航型でホームステイ、インターンシップということからハードルが高く思うし、躊躇してしまうこともあると思います。でも興味が少しでもあるなら勇気を出して一歩ふみだしてみるべきだと思います。
私自身応募する前はかなり迷いましたが、挑戦してみて良かったとおもっています。
自分がどんな職業に就きたいのか海外と日本、どちらで働きたいかなど明確に決まっていなく、迷っている中渡航しましたが、アメリカで働いている日本人の方や企業の方などさまざまなバックグラウンドを持った方々からお話を聞けるチャンスが沢山あったのでとても良い機会でした。
このプログラムで得た知識や経験をむだにせず、今後の将来に活かしていきたいです。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

研修名	アメリカグローバルキャリアプログラム 課題解決型コース
-----	-----------------------------

留学費用項目 (申込時の料金は除く)	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	50,000 円	
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	10,485 円	Holafly (E-SIM)
現地通学費	9,000 円	(研修先まで 50 分)
教養娯楽費	200,000 円	カリフォルニアディズニー、ドジャース観戦等
被服費	0 円	
雑費	0 円	
その他	円	例:
合計	269,485 円	

渡航準備について
1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: その他用意したものの: ☐ クレジットカード ☒ デビットカード・キャッシュパスポート
2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
デビットカード
3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
Holafly の E-SIM は簡単に手続き、操作が可能でした。
4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
洗濯の頻度が三日に一度程度だったため、ファブリーズを持参していたことは衛生面でとても役立ちました。

現地情報
1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
☒ なし ☐ あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？
当プログラムの事前研修の際に危険地域情報を得て、危険エリアをあらかじめ特定しておきました。 実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありませんでした。
3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
接続しやすかったです。

滞在形態関連	
1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態
☐ 寮・アパート ☐ ホームステイ ☒ ホテル	☐ 個室 ☒ 相部屋(同居人数 2 人)
3) 共有部分	
☒ バス ☒ トイレ ☒ キッチン(☒ 自炊可 ☐ 自炊不可)	

4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等) ホテルの部屋はきれいで、特にハウスキーパーの方が毎日ベッドメイキングやタオルの交換をしてくださるので、とても快適に過ごすことができました。また、ホテルの近くに日系スーパーやレストランがあるので、食事に困ることは全くありませんでした。

プログラムについて プログラム参加前について記載してください	
1)どのような目的でこのプログラムに申し込みましたか。	日系企業が数多く進出しているアメリカで、日本と海外をつなぐ仕事に挑戦したいと考えたためです。
2)参加するにあたっての目標はありますか。	企業が抱える課題に対して、消費者の価値観やニーズを的確に捉えた新プロジェクトをチームで提案し、最終的には全員で最高の達成感を共有することです。
3)申込時では、どのような業界で働きたいと考えましたか。	マーケティング業界で働きたいと考えていました。

プログラム選択の参考となる点を記載してください	
1)どのような業界で実習を行いましたか。	マーケティング業界で実習を行いました。
2) 主要な実習内容を記載してください。	日米関係を促進する NGO 団体(JASSC)が提示した課題を解決することが、実習の主な内容でした。具体的には、若者の会員数が伸び悩んでいる現状を打開するため、若者を集客し、実際に会員につなげるプロジェクトを考えることが求められました。
3)業界、仕事内容について、イメージとの違いはありましたか。日本との違いなどを感じた場合は、どのように異なっていると感じましたか。	マーケティングにおいてターゲットを理解することが大切であることは知っていましたが、そのためには並々ならぬ努力が必要になることを実感しました。Survey を作る段階から、ターゲットの何を知りたいのか、回答結果を何に活用するのかを常に考える必要があり、ターゲット理解には想像以上の工夫と労力が伴うことを学びました。 さらに、私はマーケティングをターゲットが惹かれるものを作ることと大まかに捉えていましたが、その過程ではデータを正しく読み取る力が強く求められることを学びました。調査結果が出た後も、単に表面的にデータを読み取るのではなく、チームの考えを裏づける根拠として、どのグラフ表現が最も説得力を持つのかを検討する必要があり、データを分析する力を今後伸ばしていく必要があることを実感しました。
4) プログラムや実習内容について、良かった点、悪い点(大変だった点)を記載してください。	良かった点:今まで学問として学んでいたマーケティングの手法である3Cを実践的に活用 大変だった点:8時間、頭をフル回転させて行う業務は経験したことがなく、集中力を保つことが難しかった。
5) プログラム参加の成果等を記載してください。	当プログラムのゴールは、テーマを提示してくださった団体(JASSC)に対して、新しいプロジェクトを提案・発表することでした。初めから難しい課題だと言われており、実際に頭を悩ませることばかりでしたが、チーム全員でアイデアを出し合いながら協力することで、最終的には自信を持って発表できるプロジェクトを作り上げることができました。そして、JASSCの職員の方々やハイポジションのボードメンバーの前で発表し、これまでの努力を大いに評価・称賛していただけたことは、大きな達成感につながりました。

英語力／コミュニケーションについて
1)申込時の英語スコアを記載してください。
TOEIC860点

2)渡航前に語学力向上に向け、どのような取り組みを行いましたか。 スピークバディによる英会話を始めました。
3)実習/ホームステイでのコミュニケーションや英語力の向上について、工夫したこと、成果などを自由に記載してください。 課題解決型コースは日本の学生と共に作業をするため、英語を使う機会はあまりありませんでした。コミュニケーションの面では、意見を共有する場面で目的とずれてしまい、何を話しているのか分からなくなることが初めはよくありました。そこで、論点がずれていると感じた場合には、一度話の目的を再確認するようにしたり、話し合っている内容をホワイトボードに書き出して可視化することで、議論を整理し、一貫性を保ちながら進められるようになりました。

異文化体験について
1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。 多くの人がとてもフレンドリーであることに驚きました。日本では見知らぬ人と挨拶や会話を交わすことはあまりありませんが、アメリカでは見知らぬ人にも笑顔で話しかける文化があると感じました。特に印象的だったのは、仕事に向かう際にバスに乗ったとき、運転手の方が “Hi, Are you happy? What are you going to do?” や “After working you can go karaoke around here.” など、運転しながら乗っている間ずっと明るく話しかけてくれたことです。その瞬間は、まるでエンターテインメントの世界にいるようで、こうした温かい雰囲気のおかげで、前向きな気持ちで一日を始め、仕事にも明るく取り組むことができました。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

このプログラムを通して、チームで同じ目標に向かって努力し、その過程で得られた大きな達成感から、改めて「チームで物事に取り組むことの価値」を強く実感しました。直近では、ゼミ活動が本格的に始まり、英語プレゼンテーションなど、チームで挑戦する機会があります。そこで私は、自分がどのように貢献できるかを常に考え、それを積極的に行動に移していきたいと思います。さらに、将来のキャリアにおいても「チームで成果を生み出すこと」を大切な軸として据え、自分の夢を実現していきたいです。
--

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

研修名	アメリカ・グローバルキャリアプログラム
-----	---------------------

留学費用項目 (申込時の料金は除く)	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	20000 円	ホームステイなので、屋のみ自分で用意します。レストランなど利用しなければもっと安くなると思います。
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	6000 円	e-SIM を購入
現地通学費	0 円	(研修先まで 15(バス)、25(徒歩) 分)
教養娯楽費	50000 円	ディズニーランドやドジャースタジアムなど観光もしたのでこの値段です。
被服費	0 円	
雑費	7000 円	基本行動がワーバー(タクシー)なのでかなり出費になりました。
その他	円	例:
合計	83000 円	

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 日本円で5万円分くらい換金して持っていました。
その他用意したもの: ☒ クレジットカード ☐ デビットカード・キャッシュパスポート
2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
アメリカは基本どこでもクレジットカードが使えます。
3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
e-SIM を購入しました。ポケット wifi を借りるより断然安いですし、設定も簡単なので便利です。
4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
パスポート・スマホ・貴重品を入れられる小さめのボディバックがあると便利です。

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
☒ なし ☐ あり (問題の内容や相談した人等:)
特記事項:
2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？ その際どのように対処しましたか？
渡航前に YouTube 等で現地の治安が悪い場所等を確認しておきました。
3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
特に問題ありませんでした。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態
☐ 寮・アパート ☒ ホームステイ ☐ ホテル	☒ 個室 ☐ 相部屋(同居人数 人)
3) 共有部分	
☒ バス ☒ トイレ ☐ キッチン(☒ 自炊可 ☐ 自炊不可)	

4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)
ホームステイなので正直人によりますが、私は優しい方でよかったです。まわりの学生も休みの日にホストファミリーと遊ぶなど基本いい話ばかりでした。

プログラムについて プログラム参加前について記載してください	
1)どのような目的でこのプログラムに申し込みましたか。	海外で働くことの解像度をあげるため。
2)参加するにあたっての目標はありますか。	英語でのビジネスコミュニケーションを身に着ける。
3)申込時では、どのような業界で働きたいと考えましたか。	国を超えた輸出入に関わる業界

プログラム選択の参考となる点を記載してください	
1)どのような業界で実習を行いましたか。	日系コミュニティのための NPO
2) 主要な実習内容を記載してください。	ホームページの日本語訳の修正、チラシ作成、イベント来場者とのコミュニケーション等
3)業界、仕事内容について、イメージとの違いはありましたか。日本との違いなどを感じた場合は、どのように異なっていると感じましたか。	デスクワークが基本で頼まれた業務を行うのだというイメージでしたが、実際にはどんなことをやりたいか常に聞いてくれて、思いついたことをすぐ実践させてくれる環境でした。ワークライフバランスを大切にする文化で、みんな始業時間ぴったりに来て、定時で退社していました。
4) プログラムや実習内容について、良かった点、悪い点(大変だった点)を記載してください。	日本人がいない団体で就業体験を行ったので、語学力向上に効果的でした。一方で、就業する会社によっては完全に日系企業で日本人しかいないなど、会社によるということも聞きました。
5) プログラム参加の成果等を記載してください。	思いついた案や、意見を英語で発信することに抵抗がなくなりました。

英語力／コミュニケーションについて	
1)申込時の英語スコアを記載してください。	TOEIC835 点
2)渡航前に語学力向上に向け、どのような取り組みを行いましたか。	

オンライン英会話を毎日 30 分受講していました。

3)実習/ホームステイでのコミュニケーションや英語力の向上について、工夫したこと、成果などを自由に記載してください。

渡航前に実習先とホストファミリーに連絡を取り、自分の写真を送るなど自己紹介をしておいたことではじめから良好な関係を築けました。現地では、LINEを交換するなどすぐに連絡をとれる手段を確保し、こまめに連絡をするようにしました。

異文化体験について

1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。

日本のように「察する」という文化はないため、してほしいことや嫌なことはしっかり伝えなければいけないということに始めは戸惑いましたが、しっかり伝えればまっすぐに返してくれて、自分もコミュニケーションを取りやすくなることに気付きました。

現地で、「あるお土産屋に行きたいが、交通手段がなく困っている」と伝えたら、上司が仕事終わりに車で連れて行ってくれたことがありました。このように国民性は基本すごく優しいので、伝えれば手助けしてくれる人は多かった印象です。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200 字以上)

私は就職活動と並行していたこともあり、3 週間という短期のプログラムを選びました。もちろん長期で行くことで環境に慣れたり、語学力がしっかりあがるということもあると思いますが、短期であってもしっかり目標をもって現地で行動すれば得るものは大きいと思います。私は、3週間で必ず「英語でビジネスコミュニケーションができるようになる」と目標を持ち、現地では職場やホスト宅での会話はもちろん、積極的に現地の人に話しかけて一緒に観光したりしました。何事も自分次第で充実度は変わると思います。みなさんが素敵な留学経験を得られることを願っています。